日本口腔顔面痛学会 News Letter No.64（2023 年 10 月 30 日発行）

日本口腔顔面痛学会　理事長　松香芳三

広報委員会委員長　伊藤幹子

今回は，9 月 3 日に行われた臨床推論実習セミナーについて，国際医療福祉大学三田病院歯科口腔外科阿久津眞奈先生に報告していただきます．

口腔顔面痛臨床推論実習セミナー参加報告

国際医療福祉大学三田病院歯科口腔外科　阿久津　眞奈

残暑厳しい 2023 年 9 月 3 日（日），慶應義塾大学信濃町キャンパス新教育研究棟 2 階講堂にて，口腔顔面痛臨床推論実習セミナー2023 が開催された．

はじめにセミナー企画運営委員会担当理事の大久保昌和講師（日本大学松戸歯学部）による開会の挨拶，診断実習セミナー担当委員長の村岡渡講師（川崎市立井田病院）による講師紹介，およびプログラムの解説が行われた（表 1）．

総論　臨床推論による症例鑑別診断の進め方（和嶋講師）
各論　臨床推論のための症例提示と診断
症例①提示（臼田講師）
筋・筋膜性疼痛診査法解説（小見山講師）
筋・筋膜性疼痛診査法実習（咬筋・側頭筋の触診法）
症例①での臨床推論実習（グループワーク）

症例②提示（西須講師）
12脳神経の診査法解説（大久保講師）
神経障害性疼痛診査法解説（福田講師）
脳神経スクリーニング実習
神経障害性疼痛診査法実習（定性感覚検査）
症例②での臨床推論実習（グループワーク）

表1）セミナーの概要

本セミナーの目的は臨床推論の技術と知識の習得であることから，講義開始前に 5 択の選択肢問題 10 問のプレテストが施行された．

午前の最初の講義は，和嶋浩一講師（元赤坂デンタルクリニック）による総論で，臨床推論に基づいた症例鑑別診断の進め方について，仮説演繹法を用いた診断のプロセスを学んだ．

各論の講義後に，実際の症例が提示され臨床推論実習が行われた．参加者は各 5～6 名からなる A～F の 6 班のグループに分けられ，臼田頌講師（慶応義塾大学医学部）から提示された症例を臨床推論に基づいて診断し，グループごとに結果を発表するという形式であった．

筋触診の相互実習

診断に先立ち，小見山道講師（日本大学松戸歯学部）より，筋・筋膜性疼痛診査法の解説が行われた．各グループ内で，咬筋・側頭筋の筋硬結の触知，関連痛の再現を経験するために相互実習を行った．講師の先生方が直接指導してくださり，実際に体感することでより理解を深めることができた．筆者の班の講師は大学時代に教えを受けた小見山教授であり，学生時代を思い出し，懐かしい気持ちになった．

1 症例目の臨床推論実習をグループごとに行った．患者の訴えを正確に把握することが診断の精度向上につながるため，この実習においては，仮説演繹法の最初に行う「包括的病歴採取」が最も慎重に行うべきステップであることを痛感した．同じグループの経験豊富な先生方の意見は学ぶことが多く，討論を重ねることで症例の問題点を明確にすることができた．

グループワークでの臨床推論実習

西須大徳講師（愛知医科大学病院）より臨床推論実習の 2 症例目が提示された．

1 例目と同様に，診断に必要な知識として大久保講師より 12 脳神経の診査法の解説が行われ，グループごとに相互実習を行った．想像していたよりも簡便な検査であったため，臨床でも実践しやすいと感じた．またペンライトや音叉を使った診査は，普段使い慣れていないということもあり，新鮮さがあり面白かった．

福田謙一講師（東京歯科大学）より神経障害性疼痛の診査法について定性感覚検査を中心に学んだ．神経障害性疼痛は口腔外科的にも遭遇する可能性が高いため，知識の再確認も兼ねて学び直すことができてよかった．相互実習では刺激と感覚の種類をひとつひとつ意識して診査を行った．

脳神経スクリーニングの相互実習

診断に必要な予備知識を学んだ後，2 症例目の臨床推論実習を行った．2 症例目は 1 症例目に比べ症状が多彩で複雑であり，鑑別診断としてあげる疾患の不足や検査の見落としがあったのは個人的な反省点であった．最終診断がグループごとに微妙に異なっていたのも同様の理由であり，どの症状を重要視するかが最終診断に影響を及ぼすことを強く実感した．

最後にポストテストが行われ，本実習を通しての習熟度を確認することができた．口腔顔面痛の臨床推論をハンズオンで学ぶことができ，非常に有意義な経験となった．また本実習のテキストはフルカラーで印刷されており，内容の充実度を考えると 1 冊の書籍に値する価値があると思われる．3 年振りに現地開催してくださった講師と関係者の皆様に感謝申し上げたい．筆者は来年度認定医試験を受験予定であるため，今後も自己研鑽を続け，早く口腔顔面痛診療の一端を担えるようになりたいと考えている．

【阿久津眞奈（あくつまな）先生のプロフィール】

2019 年 3 月　日本大学松戸歯学部卒業

2019 年 4 月-2021 年 3 月　埼玉医科大学病院複合型歯科医師臨床研修プログラム修了

2021 年 4 月-現在　国際医療福祉大学三田病院歯科口腔外科

日本口腔顔面痛学会 News Letter へのお問い合わせは

「日本口腔顔面痛学会事務局」まで

〒135-0033　東京都江東区深川 2-4-11 一ツ橋印刷株式会社学会事務センター内

TEL: 03-5620-1953，FAX: 03-5620-1960　E-mail: jsop-service@onebridge.co.jp